

平成 23 年度伊佐市 9 月補正予算（案）の概要

8 月 29 日招集の 9 月議会定例会へ提案

1 今回の補正の主な内容

【概数で表示】

一般会計の補正予算額 13 億 1,002 万 4 千円（総額 160 億 1,546 万 4 千円）

・ 曾木の滝公園を観光拠点整備	自然エネルギー学習施設・展望所等を建設	7,000万円
・ 子どもの森事業を展開	自然体験活動（十曾池周辺）で子どもの成長を育む	2,000万円
・ 核となる畜産経営策を強化	優良種雌牛を保留・導入し良質牛で銘柄確立	2,000万円
・ 校区コミュニティの強化を図る	16校区の特色ある地域づくりを支援	840万円
・ 早期の災害復旧をめざす	公共・単独土木、農地農業施設、林道 300件	6億2,000万円
・ 財政基盤の強化	将来も計画的な財政運営を行うため財調積立	4億8,000万円

2 補正予算総括表

（単位：千円）

	現計予算額	9月補正(定例会)	補正後予算額
一 般 会 計	14,705,440	1,310,024	16,015,464
国民健康保険事業特別会計	4,340,000	57,880	4,397,880
介護保険事業特別会計	3,147,300	81,104	3,228,404
後期高齢者医療特別会計	402,600	▲ 9,681	392,919
農業集落排水事業特別会計	196,425	▲ 19	196,406
合 計	22,791,765	1,439,308	24,231,073
水道事業会計(収益的支出)	340,290	3,381	343,671
水道事業会計(資本的支出)	160,420	22,035	182,455
合 計	500,710	25,416	526,126

3 主な補正項目・事業内容

★地域振興課

⑧ 曾木の滝公園観光拠点施設を整備

7,000万円

（地域振興事業を活用）

観光資源である曾木の滝公園を整備し鹿児島県の観光の玄関口とする。

曾木の滝展望所のリニューアルと情報スペースの整備に加え、曾木発電所遺構や小水力発電などの自然エネルギーを学ぶ施設として、現展望台付近に観光拠点施設を計画している。

★福祉事務所

⑧ 子どもの森事業(自然遊び、異年齢、異世代との交流で社会性を身につける) 1,800万円

現在の子育ては、屋内での活動が主体であり野外では園庭や校庭で遊びやスポーツなど決められた場所での活動であり、自然の中で心と体をバランスよく成長させる子育ては困難な状況である。親子が安全に自然の中で活動できる環境や活動方法を提供して、日常では体験できないダイナミックな活動により子どもたちの心や体を力強く成長させ、異年齢の子ども達同士、さらには保護者から高齢者まで異世代との交流を繰り広げ社会性や思いやりを身に付けてもらい地域の育児力の再生と創造を目的とする。

○ワークショップ型

子どもと保護者が自然体験活動に必要な施設などを、アドバイザーなどの指導により完成までの製作の過程を経験する。

- ・ 菜園コロニー製作活動・・・自然の中で食物を育てる喜びを共感する。
- ・ 石窯製作活動・・・・・・・・自然の中で育てた食物を調理する石窯を製作する。
- ・ 五右衛門風呂製作活動・・・自然体験活動で流した汗を洗うため、薪で沸かす風呂を製作する。
- ・ 森の多目的建屋製作活動・・・天候に左右されないで自然体験活動できる建屋を製作する。

○自然体験活動型

自然体験活動の指導が行えるインストラクターやリーダーを地域に育成して、ワークショップ型で製作した施設を利用しながら、伊佐市の表情豊かな春の野山、夏の川、秋の収穫、冬の寒さなど四季に応じた自然体験活動を行う。

・ **子育て支援資源地域ネットワーク強化事業** 190万円

★農政課

畜産を“地区産へ発展” 2,000万円

優れた雌牛を残し規模拡大を支援します。

・ 伊佐市優良種雌牛の保留を拡充 1,000万円
(チャレンジ基金を活用)

目 標 現在の優良雌牛年間 65 頭(現在最高10万円助成)→ 100頭(20万円助成)に増頭

2010年3月に薩摩川内市・薩摩郡さつま町・伊佐市が統合し北さつま農業協同組合となる。
これに伴い本年5月には伊佐家畜市場は薩摩中央家畜市場(さつま町)と統合。

農家の生産牛の保有頭数も薩摩川内市とさつま町で約8,000頭、伊佐市で約3,500頭となり県内3番目の規模に競り市場となっている。年間の市場の競り頭数も約9,500頭と見込まれ、優良牛を購入するにも競り値が上がり購入が難しいため優良牛が県外に流失する状況。このため優良種雌牛を保留し伊佐牛の銘柄を確立するためにも高価でも農家が容易に子牛を購入できるよう助成をする。

子牛品評会において保留牛及び、秀賞牛に選定されたものを保留・導入した場合に補助金。

購入の場合 ⇒ 導入価格の上位1頭 ~ 3頭 20万円(1頭当たり)
 " 4頭目 ~ 7頭 15万円(1頭当たり)
 " 8頭目~10頭 10万円(1頭当たり)

自家保留の場合 ⇒ 品評会において保留指定されたもの 20万円(1頭当たり)
 秀賞指定されたもの 10万円(1頭当たり)

・ 伊佐市肉用牛規模拡大事業基金を拡充 1,000 万円

肉用牛の規模拡大事業基金を増額し購入資金を支援
現在の貸付基金枠 3,000 万円を → 4,000 万円
(22 年度末貸付残高頭数 113 頭)

かぼちゃの新規栽培農家を支援 136 万円

かぼちゃ生産農家の高齢化により栽培農家が減少傾向にある。新規栽培農家を掘り起こすため、栽培開始時に高額となる資材購入費・苗購入費を助成し、かぼちゃの生産拡大を目指す。

★企画調整課

⑨ 校区コミュニティの特色ある地域づくりを支援 840 万円

・ 校区のあり方について協議し、5 年後、10 年後の方向性を示す 16 校区の特色ある地域づくり校区振興計画書の策定支援と拠点整備 540 万円

・ 校区コミュニティの音響機器を整備 300 万円

・ その他事業
交通安全施設を整備 ガードレール・ロードミラー・区画線 1,500 万円

★建設課

市道を整備しインフラ産業を活性化 2 億 8,200 万円
(今回補正分 5,830 万円)

花北 4 号線、里町轟公園線、原田橋の測量設計業務を委託 1,600 万円
(次年度工事費 2 億 4,000 万円)

金波田線、押ヶ段馬鍬水流線、白木麓線、堂崎大島線、荒瀬 1 号線の側溝整備 800 万円

包ノ原大住線、山神日東線、朝日町諏訪ノ馬場線、湯之尾獅子間野線 1,800 万円

【水道事業】曾木の滝下荒田線、大田 3 号線、並木大島線の配水管布設替え及び新設工事 1,630 万円

新曾木大橋開通式 11 月 5 日(土) 120 万円
式典・会場設営等 (地域振興事業を活用)

災害復旧関連事業 6 億 2,000 万円

(6 月 14 日～23 日雨量 695mm、7 月 4～6 日雨量 267mm)

6 月 14 日～23 日豪雨

連続雨量 6 月 14 日 24:00～23 日 3:00 695mm

最大時間雨量 19 日 16:00～17:00 36mm

7 月 4 日～7 月 7 日豪雨

連続雨量 7 月 5 日 20:00～7 日 1:00 267mm

最大時間雨量 6 日 7:00～8:00 73mm

公共土木災害復旧工事 (35 件) 3 億 6,200 万円

単独災害復旧工事 (64 件) 5,150 万円

農地・農業用施設災害復旧工事 (210 件) 1 億 9,000 万円

林道災害復旧工事 (白木線、下手線、池田線) 1,710 万円

★市民課

伊佐市人権教育・啓発基本計画書を作成
(基本計画書 1,200 部・ダイジェスト版 15,000 部)

76 万円

★教育委員会総務課

山野西小学校閉校記念式典関連

閉校記念碑建立等 120 万円、閉校記念誌 400 部 65 万円、式典費用など

190 万円

★財政課

財政調整基金へ積立 (財政課)

4 億 8,100 万円

財政の安定を確保のための積立

平成 22 年度決算実質収支額 (決算剰余金) の 1/2 を積立 244,000 千円

一般積立 237,482 千円

基金残高見込み 55 億 2,500 万円
(うち財政調整基金 46 億 6,000 万円)

【お問合せ先】 伊佐市 財政課 財政係
電話 : 0995-23-1311 (内線 1141・1142)
e-mail : zaisei@city.isa.lg.jp